

---

# メンテナンスガイド補足

---

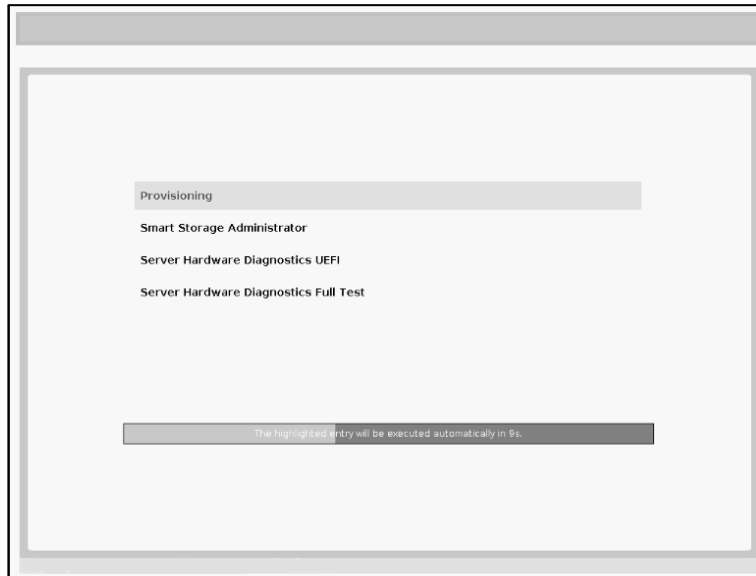
---

## 1. EXPRESSBUILDER の起動

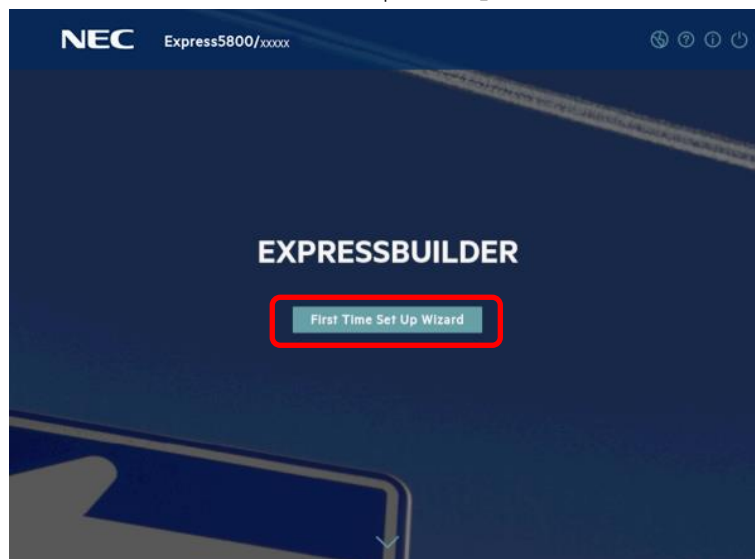
---

1. 本機の電源をオンにするか、または<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押して再起動させます。
2. POST 画面で<F10>キーを押します。

以下のメニューが表示されます。



3. メニューから「Provisioning」を選択します。
4. 「メンテナンスの実行」から環境クリア後、または初回起動時は、EXPRESSBUILDER の動作環境を設定します。
  - (1) 以下の画面で、「First Time Set Up Wizard」をクリックします。



- (2) 以下の画面では、「インターフェイス言語」(デフォルトの英語表記時は「Interface Language」)を日本語に変更して日本語表記にします。さらに、「キーボード言語」を日本語に変更し、「タイムゾーン」を「UTC+09:00、大阪～」に設定して次へ進みます。その他の設定は変更しません。「タイムゾーン」がグレーアウトして変更不可のときは、そのままの設定で次へ進みます。

The screenshot shows the NEC Express5800 BIOS/UEFI setup screen. The title bar at the top reads "NEC Express5800/xxxxxxx". Below the title bar, the text "言語およびタイムゾーンを選択します" (Select language and time zone) is displayed. The screen is divided into two main sections. The left section contains three dropdown menus: "インターフェイス言語:" (Interface Language) with "日本語" (Japanese) selected, "キーボード言語:" (Keyboard Language) with "日本語" (Japanese) selected, and "ブートBIOSモード" (Boot BIOS Mode) with "UEFI最適化ブート" (UEFI Optimized Boot) selected. The right section contains a "タイムゾーン" (Time Zone) dropdown menu with "UTC-00:00、グリニッジ標準時、ダブリン、ロンドン" (UTC-00:00, Greenwich Mean Time, Dublin, London) selected. Below this, there are fields for "システム日付" (System Date) showing "2023/01/14" and "システム時刻" (System Time) showing "14:44:56". At the bottom right, there is a toggle switch for "フィードバックを有効にする" (Enable feedback). A red box highlights the "次へ" (Next) button at the bottom center of the screen.

- (3) 以下の画面では、エンドユーザーライセンス(EULA)を読み、チェックボックスをチェックした後、次へ進みます。

The screenshot shows the NEC Express5800 BIOS/UEFI setup screen displaying the End User License Agreement (EULA). The title bar at the top reads "NEC Express5800/XXXXX". Below the title bar, the text "EULAをお読みください" (Please read the EULA) is displayed. The screen is divided into two main sections. The left section contains the text "ソフトウェアのご使用条件" (Software Usage Conditions) and a paragraph of text. The right section contains a list of conditions. A red box highlights the checkbox labeled "EXPRESSBUILDER EULAを承認" (I agree to the EXPRESSBUILDER EULA). Below the checkbox, there are two buttons: "前へ" (Previous) and "次へ" (Next). A red box highlights the "次へ" (Next) button.

(4) 以下の画面では、電力およびパフォーマンスのワークロードプロファイルを設定します。

その他の設定は変更しません。

選択したプロファイルは、システムユーティリティの「System Configuration >

BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の「Workload Profile」の設定に反映されます。

詳細は、メンテナンスガイド(共通編)の「1 章 システムユーティリティ」の「ワークロードプロファイル」を参照してください。



ここでは、ワークロードプロファイルに「Custom」を指定できません。

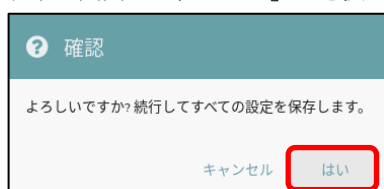
ご使用のモデルによっては、本体装置にデフォルトで「Custom」が設定されていることがあります。その場合、ここでは「一般的な電力効率コンピューティング」を選択して、「First Time Set Up Wizard」の設定を完了後、システムユーティリティから「Custom」設定に戻してください。詳細は、メンテナンスガイド(共通編)の「1 章 システムユーティリティ」の「ワークロードプロファイル」を参照してください。

(5) 以下の画面では、設定を変更せずに次へ進みます。

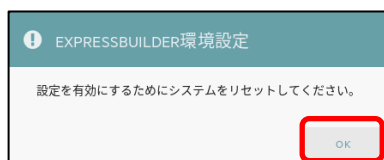
- (6) 以下の画面では、設定を変更せずに「送信」をクリックします。ここでは、iLO の現在の設定が表示されるため、画面の表示は環境によって異なります。



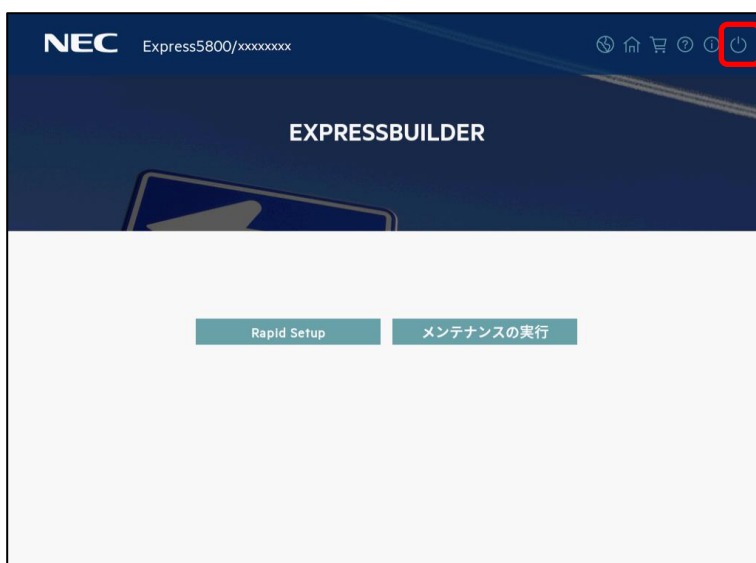
- (7) 以下の画面では、「はい」を選択して設定を保存してください。



- (8) 以下の画面では、「OK」をクリックして次の画面に進みます。



- (9) 以下の画面では、右上の電源アイコンをクリックしてサーバーを再起動してください。

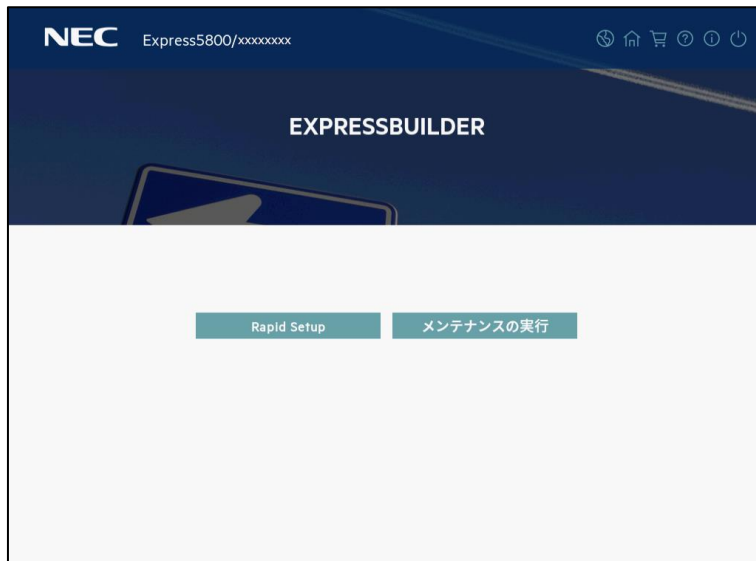


---

## 2. EXPRESSBUILDER のメニュー

---

EXPRESSBUILDER は、画面上のメニューから操作します。



a) Rapid Setup

OS のインストールを実施します。詳細は、「インストレーションガイド(Windows 編)」を参照してください。

本機能を使うと、インストール先ディスクのパーティションをクリアし、全データを削除してからセットアップを進めます。

b) メンテナンスの実行

以下の保守用のツール等を個別に起動します。

(1) EXPRESSBUILDER 環境設定

「1 EXPRESSBUILDER の起動」の手順 4 で設定した環境を再設定できます。

(2) Active Health System ログ

外部メディア等へ、故障時の解析などで使用する AHS ログを保存できます。

(3) 展開設定

サーバーのインストール設定を多数台へ展開することができます。

(4) BIOS/プラットフォーム構成

BIOS の設定ができます。

(5) iLO 構成

iLO の設定ができます。

(6) システムの消去およびリセット

環境設定の消去、およびハードディスクドライブの消去ができます。

「すべてのハードディスクドライブ」を選択すると、外付けを含め、サーバーに接続しているすべてのディスクの内容を消去します。また、「ハードドライブのワイプ」を選択すると、すべてのディスクに対し、全セクタにランダムパターンを数回上書きしてデータを完全に消去します。



本機能を使用してディスクを消去した場合、ディスクに記録されたデータは復旧できません。また、「ハードドライブのワイプ」を実行すると、接続したディスクの容量によっては、終了まで数日かかる場合があります。

(7) One-button セキュア消去

サーバーを初期状態に戻します。

本機能は、iLO に搭載済みの機能と同等です。詳細は、「iLO5 ユーザーズガイド」の「19. ライフサイクル管理」を参照してください。

(8) RAID の構成

RAID の構築、設定を GUI で実施できる Smart Storage Administrator (SSA)を起動します。